

ロケット開発の”助^{すけ}っ^と人”求ム！ インターステラテクノロジズは、
企業からエンジニア出向を受け入れる「助っ人エンジニア制度」をはじめます。

2020年4月、トヨタよりエンジニア受け入れを開始
大企業×スタートアップのコラボレーションで、軌道投入ロケット「ZERO」開発を加速



インターステラテクノロジズ株式会社（本社：北海道広尾郡大樹町 代表取締役社長：稲川貴大、以下IST）は、「世界一低価格で、便利なロケット」をコンセプトとして観測ロケット「MOMO」と超小型人工衛星を宇宙空間に運搬する軌道投入ロケット「ZERO」を独自開発しています。2020年4月から研究開発のスピードを加速させるために、企業・大学・研究機関等からエンジニアの人材受け入れを行う「助っ人エンジニア制度」を開始いたします。4月1日からは、自動車メーカー「トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）」から研究開発エンジニアの方が2名、当社に出向いたします。

ロケット開発は、最先端の学び場

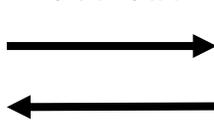
「助っ人エンジニア制度」は、様々なものづくりの業界（航空宇宙業界を含む）の企業・大学・研究機関等に所属するエンジニアが、当社に一定期間出向して、当社の社員とともに創意工夫をしながらロケットの研究開発を行うプログラムです。最初に参画いただいたトヨタ様は、エンジニアが所属する企業の枠を超え、スタートアップでの研究開発という異なるフィールドで活躍をし、さらなる成長や課題解決力の向上を目的として、本制度に参加いただきました。

IST ロケット開発「助っ人エンジニア制度」

【企業等の目的】
人材育成
研究者の活躍促進



社員が出向



人材育成の機会提供



【ISTの目的】
ロケット研究開発を加速
各種業界のノウハウ獲得

みんなの力で、宇宙を目指す

従来は国家主導の事業であったロケット開発を民間企業として成功させるためには、当社だけではなく、多くの企業団体の力をいただきながら開発を進める必要があります。当社はこれまで、“開かれた宇宙開発”をテーマに、ロケット開発スタートアップを応援する法人サポーターズクラブ「みんなのロケットパートナーズ（略称：みんなロケ）」の設立・運営や、企業・大学・研究機関等との共同研究開発などを進めてまいりました。しかし、軌道投入ロケット「ZERO」の開発の加速に伴い、各領域の専門性を持った人材の必要性の高まりを受け、「助っ人エンジニア制度」を開始し、企業や団体からの人材受け入れを積極的に行ってまいります。今後も私たちとともに宇宙を目指す「助っ人エンジニア」を募集しておりますので、様々な企業・大学・研究機関等からのご連絡をお待ちしております。

■ インターステラテクノロジズ株式会社

「誰もが行ける宇宙」を実現するため、世界一低価格で便利なロケットを開発。観測ロケット「MOMO」と超小型人工衛星を宇宙空間に運搬する軌道投入ロケット「ZERO」を開発。2019年5月4日（土）、北海道大樹町で観測ロケット「宇宙品質にシフト MOMO3号機」を打上げ、国内の民間企業では初めて宇宙空間に到達。民間の姿勢制御機能を持つ液体燃料ロケットとしては世界で4番目の宇宙到達を達成。2020年、第4回宇宙開発利用大賞「内閣府特命担当大臣（宇宙政策）賞」を受賞。



- 沿革 : 2003年設立
- 代表者 : 代表取締役社長 稲川 貴大
- 所在地 : 北海道広尾郡大樹町字芽武690番地4
- 事業内容 : ロケットの開発・製造・打上げサービス
- URL : <http://www.istellartech.com/>



みんなの
ロケット
パートナーズ

■ みんなのロケットパートナーズについて

名称	: みんなのロケットパートナーズ
事務局所在地	: 千葉県浦安市当代島1丁目1-11 フォーレストビル6-A
発起人	: 佐渡島庸平/岡田武史/山崎直子
事務局担当	: 小林徹（インターステラテクノロジズCFO）
活動内容	: インターステラテクノロジズのロケット開発の応援を通じて日本の宇宙産業を成長させる
設立	: 2019年3月19日
加入数	: 21社（丸紅株式会社、レオス・キャピタルワークス株式会社、室蘭工業大学等）
URL	: http://www.istellartech.com/minroke

【本件に関するお問合せ先】

インターステラテクノロジズ株式会社 広報 小林徹（こばやしとおる）/ 中神美佳（なかがみみか）
Mail : press@istellartech.com TEL : 01558-7-7330